

第4回 秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会 (渋沢駅)

令和5年9月4日(月)

午後5時～ 西公民館 2階 集会室D

秦野市4駅にぎわい創造検討懇話会とは？

**まちに関わる様々な人のまちに対する
思い、アイデアを共有し、形にする場**

- 自分事として将来のまち(将来の暮らし等)を考える・共有する。
- やりたいこと、できそうなこと(アイデア)を具体化し、実践・検証しながら、今後の自分達の役割、関わり方について考える。
- 懇話会を通じて、仲間づくりやまちに関わることの楽しさ・達成感につなげていく。

懇話会でやろうとしていること

- 自分たちができる、「まちにいいこと」を考える。
 - 「どこで」「なに」をやるとまちが活性化しそうかを考える。
 - 実際にやってみる。
 - ▶ 例えば…「空地でマルシェをやってみる」「道端にベンチを置く」
 - 活動と議論を積み重ねる。
- ▼
- 実際の体験などをもとに、自然体のまちの方向性づくりを行う。
 - 行政は、活動を支援する形で、できること・やるべきことを施策とする。
- ▼

まちの活性化・多くの人がまちのにぎわいづくりに参加したくなる

にぎわい創出のヒント

1

だれもが「住民」として、活動していく

住んでいる人だけでなく、まちに関わる人誰もが「住民」として、
できることから活動していく

2

まちの特徴・魅力を再発見していく

新たに作るだけでなく、今あるまちの特徴・魅力を再発見していく

3

まちの特徴・魅力を発信していく

再発見したまちの特徴・魅力を、伝えていきたい人に発信していく

第2回 ワークショップの振り返り

【グループA】

まち(渋沢)の特徴・魅力		秦野市の特徴・魅力	足りていないもの・こと
新東名のトンネルの上から見える風景	とにかく自然と住宅が調和	戸川公園(川あそび)	私立中学・高校が足りていない →横浜・東京方面に通学する必要がある
食べ物(茹で落花生)食べ物がおいしい	空気が良い	滝沢園	
霜柱	たまに見るモクスガニ	クライミングパーク(リード・スピード・ボルタリング3種)	有名人(芸能人)に関わるスポット
小田急線が見える	鳥のさえずり	表丹沢	帰宅時に気軽に休憩や課題・勉強するところがない
普段着で気ままに歩ける	なんとなく田舎	神奈中で丹沢や戸川公園に行ける	ソウルフードがない
駅近くに高校生にとって入りやすいケンタッキーやミスドがあり、高校生のたまる場所がある	西中の通りの桜並木(散歩するときれいだし良い)	歩いて(車)でカルチャーパークに行ける	駅から西中学校までの道が狭く混雑しているときなど歩きにくい
	孫と遊ぶ	丹沢がどこからでも見える。毎日or週毎に丹沢の景色が変わる	
なんつつ亭(行列のできる・できていた店)	犬の散歩	都内までのアクセスが良い	自習ができたり、部活の練習ができる場所がほしい
2024年から新1万円札が渋沢栄一	カルチャーパーク	工場が多い(仕事が多い)	住みたいと思うようなPR
小田急線内で標高1番	総合体育館にジムやアリーナ、プールなどがあり運動できる。	カルチャーパークや文化会館など、高校生の部活動の発表等がきれいに整った施設で行うことができる。	遊びに行きたいと思うようなPR
渋沢丘陵、頭高山、八重桜 景色	桜並木		働きたいPR
		製造業	
		リモートワーク	

第2回 ワークショップの振り返り

【グループB】

まち(渋沢)の特徴・魅力	秦野市の特徴・魅力	足りていないもの・こと
駅の規模のわりにスーパーが多く買い物が便利	水道水がおいしい	子どもがある程度大きくなった時に遊べる所がない
少し移動すれば丹沢や富士山が見える	車でのアクセスが良い	遊べる所がない
アウトドアライフができやすい	基本的に静か	映画・ボーリング・買い物等
渋沢丘陵等ハイキングや散歩ができる	運動公園	ホビーショップ(趣味の店)
肉の松屋 からあげ	自然が多い	子育てしづらいかな
戸川公園 個人のご飯屋さん・カフェがある	戸川公園	駅ににぎわい施設が不足
ラーメン 阿闍梨・なんつつ亭	ヤビツ	買い物→車で246号へ
駅すぐから住宅街	菜の花台	車がないと不便
カルチャーパーク	新宿まで小田急1本で行ける	野生動物に出くわす
新SA	箱根、伊豆等観光地が近い	駅前にお風呂屋があるといい
登山がすぐできる	比較的静かで住みやすい	坂多い
駅前・246沿いに色々な店がある	運動公園・戸川公園等が近い	
虫(カブトやクワガタ)	山	

ワークショップまとめ

ポテンシャル

- 日常的に触れられる自然の豊かさや、景色の良さ。
- ハイキングスポット、スポーツ施設、公園など、野外での活動場所が豊富であること。
- 駅から住宅街が近い、お店があるなど、住みやすさがある。

課題

- 学生が勉強・活動をする場所や、人が気軽に集まれる場所など、にぎわい施設の不足。
- 地域の魅力について効果的なPR。
- 生活するうえでの移動手段。

第3回 まち歩き振り返り

目的

渋沢駅の「にぎわい」とは何か？を考えながら、駅周辺を実際に歩いてみることで、普段気が付かなかった、特徴や魅力、課題を再発見する。

まち歩きの視点

- ✓ 駅から見た景色はどうか？ ☞ 駅近のおすすめベストスポット
- ✓ 交通量や人の流れはどうか？ ☞ 国道246号以外での車の流れ、人の年齢層
- ✓ どんなお店(飲食店等)があるか？ ☞ どういった人が利用しそうか？
- ✓ 子どもたちの遊ぶ場所は？人が集まりそうな場所は？
- ✓ 駅周辺の雰囲気はどうか？ ☞ 商店街の雰囲気、利用客はどれくらいか？

第3回 まち歩き振り返り

まち歩きルート



スタート

澁沢駅北口→駅前広場→国道246号沿い→柳町商店会→線路沿い→澁沢駅前商店会→澁沢駅南口→曲松児童センター→國榮稻荷神社→やなぎちちょう東公園→澁沢駅北口

ゴール

第3回 まち歩きの様子

渋沢駅集合場所



パデストリアンデッキ



国道246号沿い

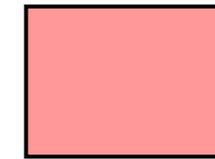
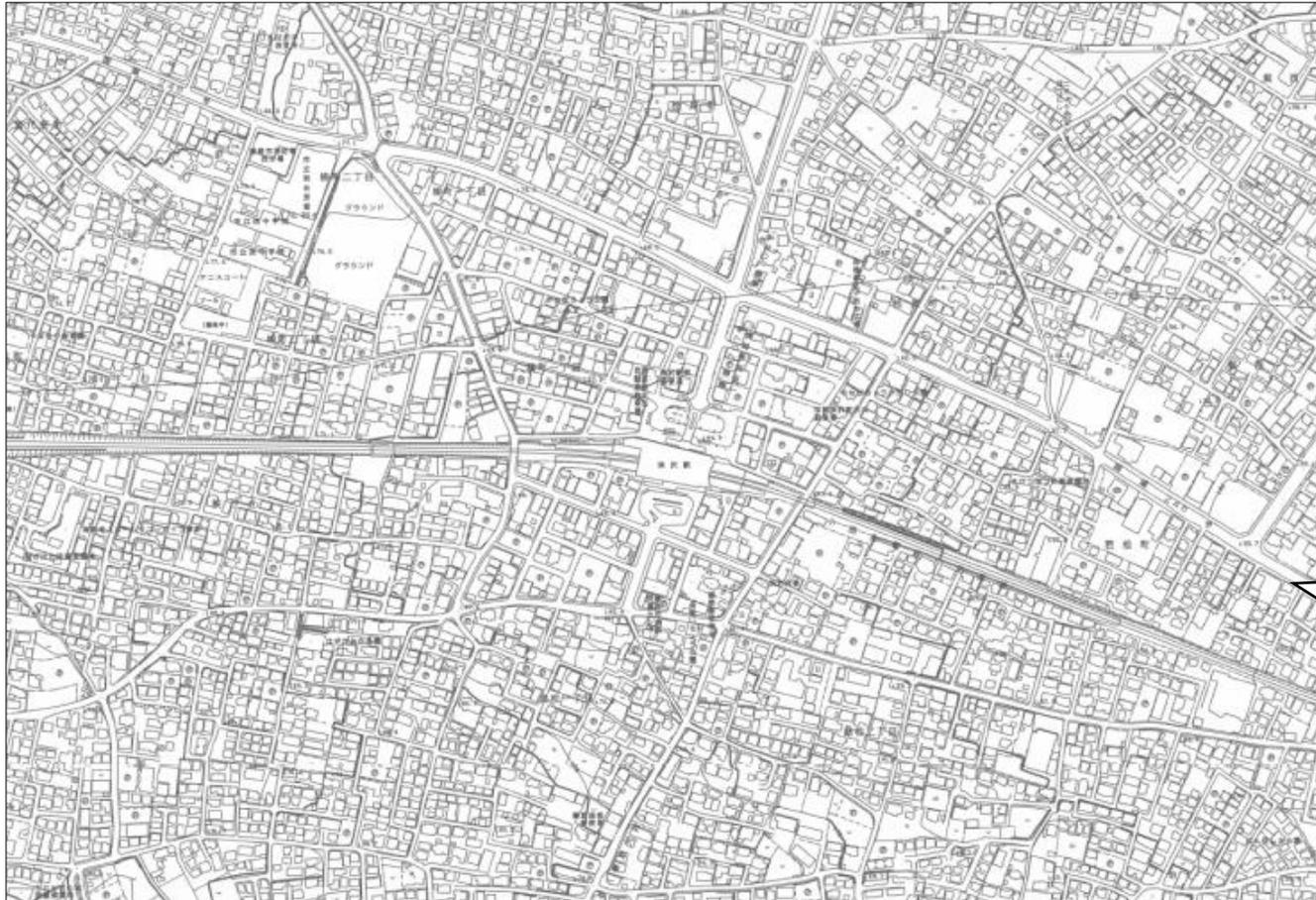


國樂稻荷神社

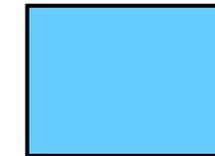


ワークショップ①

まち歩きを通して再発見した『特徴』・『魅力』・『課題』を共有しよう。
 →ソロワーク(5分)・グループワーク(10分)



まちの特徴や魅力



足りていないもの・こと

改めて特徴や魅力、課題を共有することで、

- まちの「にぎわい」とは何か？
- 「にぎわい」のために何ができるのか？

の手がかりを探していきましょう！

全体発表（1班3分程度）

グループワークのまとめを発表し、
みんなの考えを共有する。

グループワークのまとめを発表する人を1名決めてください。

ワークショップのルール

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です。
全員が発言できるように、話は簡潔にまとめ、
他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

- ◎自主性(自発性)を存分に発揮しましょう。
- ◎参加者相互の立場を尊重しましょう。
(他人の意見の非難・中傷はご遠慮ください。)
- ◎目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。
- ◎ワークショップを楽しみましょう。

他市事例紹介①

【静岡県静岡市】小さな公園に“大きな”灯火！参加型イルミネーションでつながり育む

❖課題

- 清水港周辺は交流の拠点として変化しつつある。
- 一方、市街地は遊休不動産が点在。恒常的なにぎわいが少ない。

❖実施内容

- 市街地を流れる巴川に着目。周辺の公園・道を活用した事業を開始。
- 「ヒカリ」の演出により、魅力的なエリアをつくる『巴ノヒカリ』を開催。
- イルミネーションの1つを地域の方、地元の小学生、通りがかりの方の手で作成。(ヒンメリ作成*)

❖取組の成果

- 会場となる公園でイルミネーション作りのワークショップを開催することで、公園を利用しない方にも足を運んでもらうきっかけとなった。
- 準備段階から一緒に取り組むことで、地域の結束力を生み出すことにつながった。

▼会場となった巴町公園



▼イルミネーション作りワークショップ



▼イルミネーションの様子



※光のモビールとも呼ばれるフィンランドの伝統的な装飾品

小さな公園であってもほんの少しの工夫で、地域にとって大きな効果が得られることも。

他市事例紹介②

【島根県出雲市】まちあそび人生ゲーム

◆実施内容

家庭用ボードゲームの定番商品「人生ゲーム」の遊び方をリアルな商店街を舞台に展開し、地域活性化につなげる取り組み

◆方法とねらい

- 商店街のお店をマスに見立て、ゲーム参加者はルーレットで出た目に従ってお店を巡る街歩きイベント。
- 参加者は、ルーレットが生む「偶然の出会い」から、お店の方と「顔の見える関係」につながり、「街」「商店」の魅力を再発見することで、購買を促進する。
- ゲームを制作する過程において、参加する店舗(マス)は、ゲームを演出するストーリーに「お店らしさ」を込めた内容を考える。その際、各店舗が、自店を振り返り「強み」や「特徴」を再認識し、現在の営業を見直すきっかけとすることもねらい。



「街と人」、「店と人」、「人と人」の新しい出会い・ふれあい・縁を創造する仕掛けをすることが、このイベントの最大の目的。

出雲市で始まったこのイベントは、福井県小浜市、北海道岩見沢市、愛知県名古屋市など全国で実施されている。

参考) NPO法人出雲まちあそび研究所
(<https://www.machiasobi.jp/game.html>)

他市事例紹介③

【和歌山県田辺市】工夫を凝らした家主と出店希望者のマッチングによる空き店舗対策(田辺駅前商店街)

❖課題

- 増加する空き店舗への対策。
- 地域住民の商店街への呼び込み。
- まちづくりの自分事化とソフト面の取組検討。



❖実施内容

- 商店街振興組合が主体となり、ソフト面の取組を目的とした勉強会を実施。
- 勉強会での議論をうけて、1日だけ全てのシャッターを開け、空き店舗には飲食店や雑貨店が試行的に出店できる『田辺エキストラ商店街』を実施。



▼田辺エキストラ商店街の案内及びマップ



❖取組の成果

- 勉強会で共通課題が共有されたことで、多くの関係者が自分事としてまちへの想いを語るようになり、空き店舗活用など、ソフト面での取組の検討が加速した。
- ソフト面の取組を推進したことにより、商店街の中心地における通行量の増加につながった。
- 「田辺エキストラ商店街」の開催にあたり、実行委員会が空き店舗の状況を把握し、家主との関係構築を進めた。これにより、出店希望者から相談があった際、家主とのマッチングや賃借の交渉についての支援を行うことができるようになり、正規出店を円滑に進めてもらうための基盤が整った。

「田辺エキストラ商店街」は2017年12月に第1回目を開催。その後、2019年までに計4回実施。2021年にはハロウィンイベントとして5回目を開催。多くの人に商店街の魅力を認識してもらった。

参考) 商店街における取組事例集
地域の持続可能な発展に向けた商店街づくりのノウハウ集:別冊

ワークショップ②

渋沢駅の『にぎわい』とは何か？を考えよう

今までのワークショップやまち歩きを通して感じた、自分自身が思う「渋沢駅のにぎわい」について意見交換してみましょう。

→ソロワーク(5分)・グループワーク(予定)



❖検討のヒント❖

- 学生の自分
- 社会人の自分
- 商業者の自分
- 親としての自分 …などなど

皆さんご自身の色々な立場から考えてみてください。

今後の懇話会で考えていくこと

まちの魅力・特徴・足りないものについて考える



渋谷駅の『にぎわい』について考える



「にぎわい」を創造するためにやりたい『アイデア』を考える
(短期的なもの、中・長期的なもの)



実際にどんな取り組みができるかを考える

次回の検討内容

本日の懇話会で共有した「にぎわい」を創造するために、『やりたいことアイデア』を考えていきたいと思います。

第5回懇話会 日程候補

- ①10月23日(月) 17:00～ 西公民館
- ②11月6日(月) 17:00～ 西公民館